

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	CAD基礎(非開講)	
科目基礎情報						
科目番号	0043		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	土木建築工学科		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	オートデスク(株) Autodesk AutoCAD2018 公式トレーニングガイド					
担当教員	原 隆, 劉 懋					
到達目標						
AutoCAD を用いて建築物設計に必要な平面図、立面図、断面図を適切な時間内で作成できることを目標とする。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
	AutoCADを用い、各種建築図面を目標時間内に作成できる。		AutoCADを用い、各種建築図面を作成できる。		AutoCADを用い、建築図面を作成できない。	
学科の到達目標項目との関係						
到達目標 A 1 JABEE d-1						
教育方法等						
概要	建築設計図をAutoCAD を用いて負担感なく自由に作成できるようになることを目的とし、演習をすすめる。演習の題材として、2年次の工学デザイン基礎II で自ら設計した複合施設（住居+商店）の図面を用いる。					
授業の進め方・方法	作図方法が分からない時に自由に質問し、その場で解決しながら演習をすすめる。					
注意点	授業内容を確実に身につけるために、予習復習が必須である。 成績評価：最終成績＝中間試験×0.4+ポートフォリオ×0.6 合格基準：60点以上を合格とする。 再試験：実施する。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	課題の主旨説明と図面の用紙の大きさや縮尺、レイヤ構成に関する説明 演習[学習シート01]	AutoCAD を用いて2次元図面の作成に関する基本操作が学習できる。		
		2週	AutoCAD の基本操作① 演習[学習シート02]	AutoCAD を用いて2次元図面の作成に関する基本操作が学習できる。		
		3週	AutoCAD の基本操作② 演習[学習シート03]	AutoCAD を用いて2次元図面の作成に関する基本操作が学習できる。		
		4週	AutoCAD の基本操作③ 演習[学習シート04]	AutoCAD を用いて2次元図面の作成に関する基本操作が学習できる。		
		5週	AutoCAD の基本操作④・1階平面図作成 演習[学習シート05]	AutoCAD を用いて2次元図面の作成に関する基本操作が学習できる。		
		6週	AutoCAD の基本操作⑤・1階平面図作成 演習[学習シート06]	AutoCAD を用いて2次元図面の作成に関する基本操作が学習できる。		
		7週	AutoCAD の基本操作⑥・2階平面図作成 演習[学習シート07]	AutoCAD を用いて2次元図面の作成に関する基本操作が学習できる。		
		8週	中間試験	中間試験単純な構造物の平面図、立面図を目標時間内に作図することが確認できる。		
	2ndQ	9週	AutoCAD の基本操作⑦・2階平面図作成 演習[学習シート08]	AutoCAD を用いて2次元図面の作成に関する基本操作が学習できる。		
		10週	AutoCAD の基本操作⑧・3階平面図作成 演習[学習シート09]	AutoCAD を用いて2次元図面の作成に関する基本操作が学習できる。		
		11週	AutoCAD の基本操作⑨・立面図作成 演習[学習シート10]	AutoCAD を用いて2次元図面の作成に関する基本操作が学習できる。		
		12週	立面図作成 演習[学習シート11]	建築設計図をAutoCAD を用いて負担感なく自由に作成できる。		
		13週	断面図作成 演習[学習シート12]	建築設計図をAutoCAD を用いて負担感なく自由に作成できる。		
		14週	断面図作成 演習[学習シート13]	建築設計図をAutoCAD を用いて負担感なく自由に作成できる。		
		15週	課題の再修正・最終提出	複合施設の2次元図面を中心としたポートフォリオの作成できる。		
		16週	解答返却など	複合施設の2次元図面を中心としたポートフォリオの完成度が確認できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3	
			情報リテラシー	コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3	
			情報リテラシー	情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	4	
			設計・製図	与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	4	

				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	4		
評価割合							
	試験	発表	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	0	0	0	60	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	40	0	0	0	60	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0